

親子でほっと♪「ぷちぽっぽ」

～子育てサロンと他団体とのつながり～

せつし とりかい しょうがっこう ふくしいんかい
摂津市 鳥飼小学校区福祉委員会

地域のひろばでは昨年度に引き続き、地区福祉委員会活動について連載します。今年度は「協働」に焦点をあて、活動を支える人々の思いや工夫に迫ります。



とてもかわいらしい雨の作品(5月作成)

子育てサロンでは、毎月スタッフが考案した工作を行い、作品から、少し先の季節を感じられるよう工夫しています。例えば4月には、翌月のこの日に向けてこのほりを、5月には梅雨に向けた作品を作りました。作品づくりを通して、親子で季節の行事にふれるきっかけにもなっています。

モノづくりの工夫とは

しつけるのではなく、しっかりと話を聞きお母さんの味方でありたい」と話します。家の中で悩みや不安を抱え込まず、地域で誰かと顔をあわせ、気軽に話ができる機会をつくることも、このサロンの大切な役割となっています。

長年活動を続ける秘策とは

子育てサロンは、参加する親子だけでなく、スタッフにとっても大切な居場所になっており、それが長年活動を続けられる理由の一つです。活動を重ねる中でスタッフ同士のつながりも深まり、月に一度、日常を少し離れてほっと一息つける時間にもなっています。また、子育てサロンの活動を委員長から任せられ自分たちで工夫しながら取り組めることや、家庭ではできない経験ができることもやりがいにつながっています。

スタッフは、「燃え尽きないよう、細く長く続けていきたい」と今後の意気込みを語ります。無理に活動を広げるのではなく、親子が来た時に安心して過ごせる場を守り続けたいという思いがそこにあります。活動のやりがいについて、池川陽子



左から、沢木朝子さん、茨田 薫さん、池川陽子委員長、池上喜代江さん、田中睦子さん

摂津市社会福祉協議会 鳥飼小学校区福祉委員会担当

中野 皓介さんから一言!!

ぷちぽっぽさんの子育てサロンは長きに渡る活動になっています。これまでの皆さんの当日までの準備や運営などへの努力に感謝し、社協としてもこれからもサポート体制を敷いていきます。皆さんの温かさが、参加されるご家族の笑顔につながっています!!



鳥飼小学校区福祉委員会では、未就園児とその保護者を対象にした子育てサロンを月1回、第2水曜日に開催。地域の福祉活動拠点で校区福祉委員会の5人のスタッフと委員長を中心に運営しています。スタッフの負担が大きくなりすぎないように、高齢者サロンなど他の活動とは担当を分け、子育てサロン専属に近い体制となっています。スタッフの一人は主任児童委員も兼ねており、行政主催の会議や小学校の入学式など学校行事への出席を通じて、行政や学校との橋渡し役を担っています。地域の子どもたちのようすや他地区の子育て支援の情報を把握しやすいことも、大きな強みです。

福祉委員と専門職でつくる居場所

摂津市の鳥飼小学校区福祉委員会では令和8年度現在、27人で活動しています。高齢者から子ども、乳幼児と幅広い世代を対象にした、地域のニーズにあわせたサロンや居場所づくりなど、活動は多岐に渡ります。今回は、平成16年から続く子育てサロン「ぷちぽっぽ」(以下、子育てサロン)のようすをお届けします。認定こども園の保育士や主任児童委員、行政など多様な関係者と協働しながら、親子とスタッフが笑顔で過ごせる場をどのようにつくり出しているのか、活動を支える皆さんの思いとともに紹介します。

子育てサロンは大人の居場所!?

活動で大切にしているのは、子どもたちが安全に過ごせること、そして保護者がほっとできる場であることです。スタッフは「自分たちの子育て経験を押

ロニに保育士が参加しており、「鳥飼校区も行きまますよ」と保育士から社協職員に提案があったことが、協働のきっかけでした。スタッフからは、「保育士さんに、保育現場で行われている最新の手遊びや音楽遊び、絵本の読み聞かせをしていただけることで、安心感があります。スタッフの負担軽減にもつながり、とても助かっています」との声が聞かれました。福祉委員と専門職が連携しながら、親子が安心して過ごせる場づくりをすすめています。

社会福祉法人 桃林会 とりかいひがし遊育園 保育士に聞く!

校区福祉委員会と連携をするメリットとは?

A. 子育てサロンは、園の活動を地域の保護者に知ってもらう機会になっており、入園につながったケースもあります。遊びの中で保護者の悩みを自然に聞き、「その後どうですか」と継続して関わる関係も生まれています。お母さんたちの年代もどんどん若くなっていて感覚も昔とは全然違いますが、これからの時々の思いにあわせ臨機応変に寄り添って関わっていきたくです!



読み聞かせを行う保育士 石田 郁子さん

参加者に聞く!

参加してよかったと感じることは?

A. 家ではずっと子どもと2人で過ごしているため、普段は大人と話す機会がなく、参加すると息抜きになります。子どもの発達など気になることも気軽に相談できることが非常にありがたいです。

